



● ヤシカハーフ17の使い方



このたびは、ヤシカハーフ17をお選びくださ  
いまして、まことにありがとうございました。  
ヤシカハーフ17は、次のようなすばらしい性  
能を持った使いよいカメラなのです。

- ☞ハーフで一番洗練されたデザインのEEカメラ
- ☞ハーフで一番明るい大口径ヤシノンF1.7レンズつきのカメラ
- ☞ハーフで一番早い $\frac{1}{800}$ 秒シャッタースピードつきのカメラ
- ☞ハーフで一番使いやすいセルフタイマーつきのカメラ
- ☞ハーフで一番完備したファインダーに 露出警告、シャッター  
スピード、ゾーンフォーカスマークの表示が入ったカメラ



# ✿世界のカメラをリードするヤシカハーフ17 デラックスの特長

- ハーフで一番明るい  
大口径1.7レンズ

カラー時代の最高級ヤシノン  
レンズで色調もピントもOK



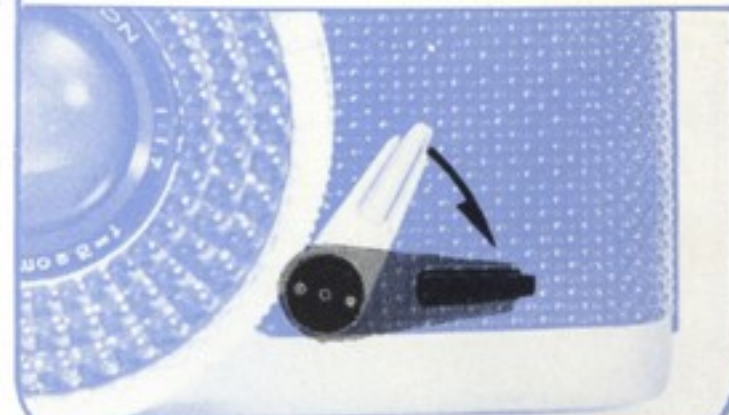
- ハーフで一番早い  
1/800秒シャッター

露出は、自動的にきまる  
EEカメラですべてOK



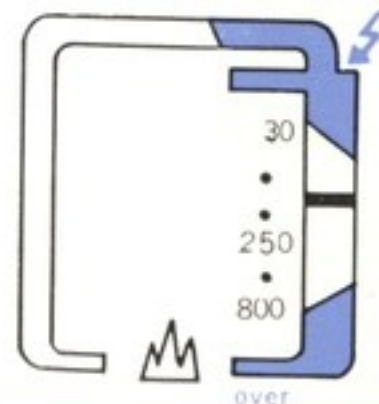
- ハーフで一番使いやすい  
セルフタイマー

レバーをたおすだけでOKの  
精巧なセルフタイマー

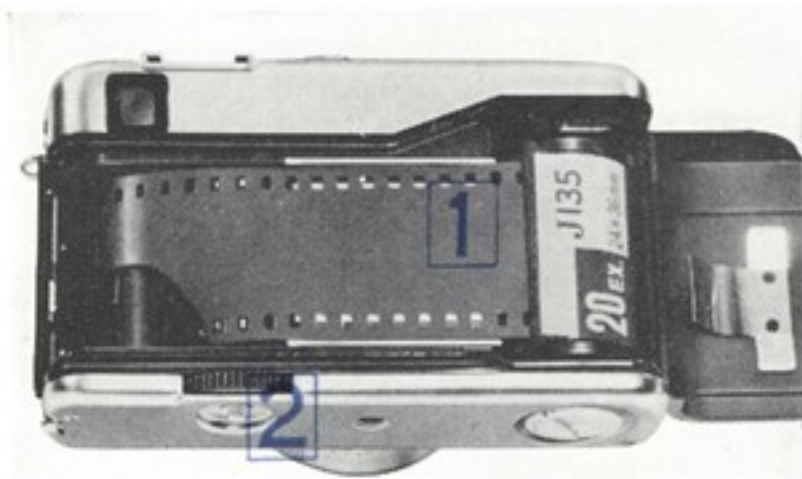


- ハーフで一番完備した  
楽しいファインダー

露出警告・シャッター速度・ピ  
ントマーク・ブライトフレーム  
もファインダー内ですべてOK

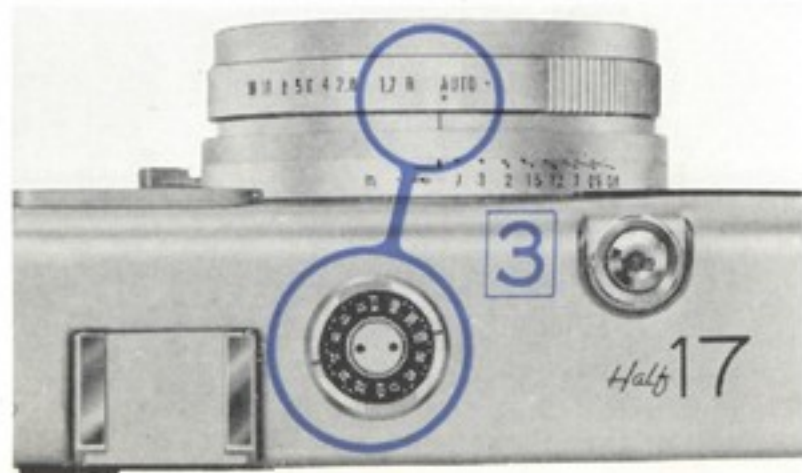


☆これだけの操作で簡単に撮影ができます



**1** フィルムを入れます  
フィルムが入れ方が悪いと、  
せつかくの写真が無駄になります  
から、正しく入れてください。

**2** 巻上げノブを巻く  
フィルム巻上げノブを止るま  
で巻きシャッターをセットします。



**3** ASA感度とAUTOを合わせる  
使用フィルムのASA感度数  
を合わせ、マニュアルリングをA U  
T Oにすれば、EE撮影ができます。

(くわしくは各項目の説明をご覧ください。)



**4** ピントマークを合わせる  
距離調節レバーを動かし、フ  
ァインダー内のピント用ゾーンマ  
ークを合せます。

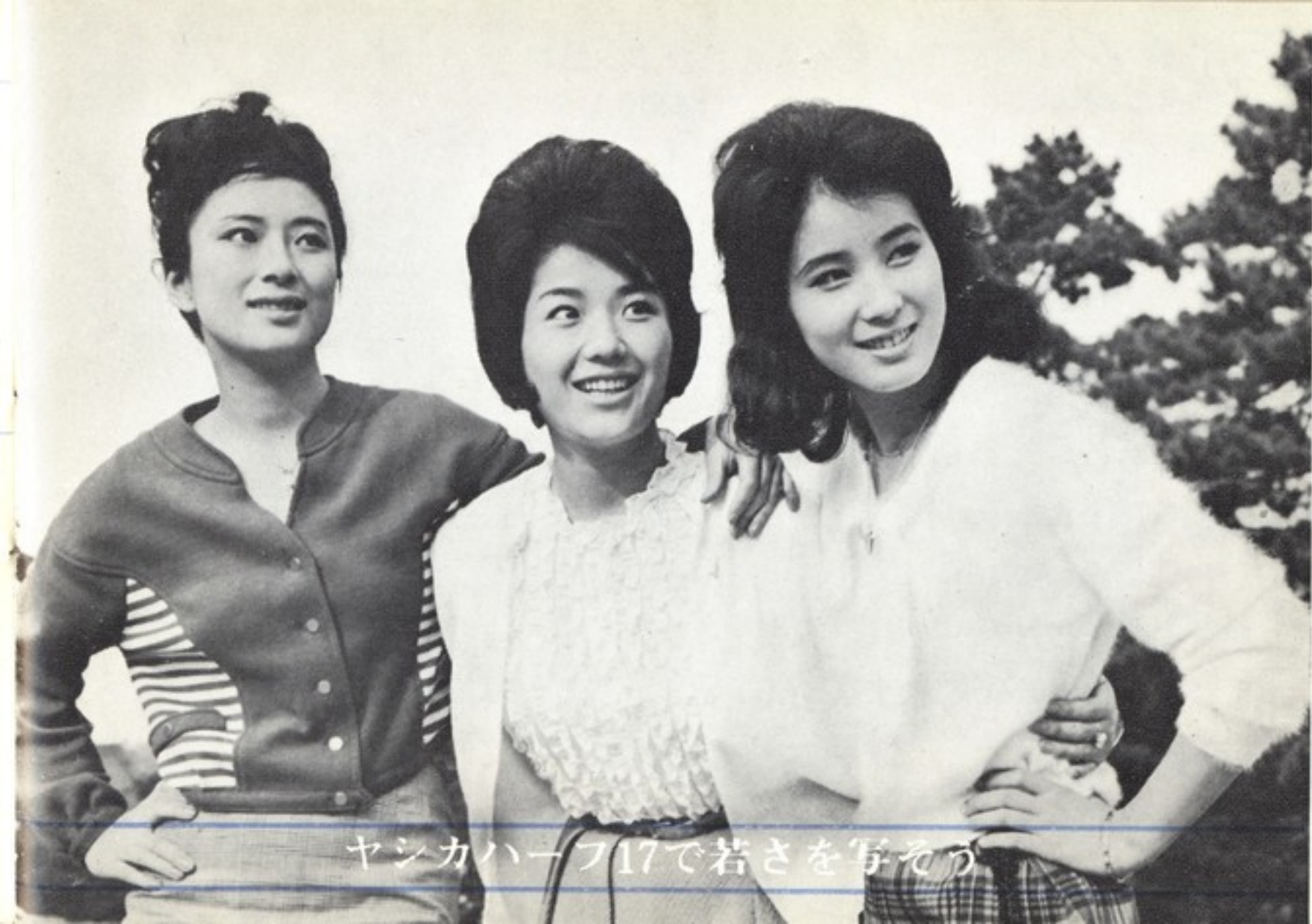
**5** 黄色の内に針があれば  
露出はOK  
ファインダーを見て、シャッター  
ボタンを軽く押し、露出表示窓の  
黄色の内に針があるのを見てから、  
シャッターボタンを押せば、撮影  
ができます。

☆手軽に持てて、気軽に写せるヤシカーフ17

☞ーフ17に使うフィルムは、どこのお店にもある35ミリフィルムがそのまま使えます。

☞また、いままでの2倍の枚数が写せるので大変便利です  
36枚撮りのフィルムなら→72枚 } 写せるのです。  
20枚撮りのフィルムなら→40枚 }

原寸の写真です。(画面サイズ24×18mm)



ヤシカーフ17で若さを写そう

●ーフ17のフィルムはどこにでもあります

DeLuxe

フィルム  
枚数計

シャッターボタン

A S A 感度表示盤と  
調節リング

アクセサリシュー

Yashica

マニュアルリング

ファインダー

距離調節レバー

レンズ32mm F1.7

露出計受光板

セルフタイマー

ファインダー接眼部

フィルム  
巻戻しノブ

フィルム巻上げノブ

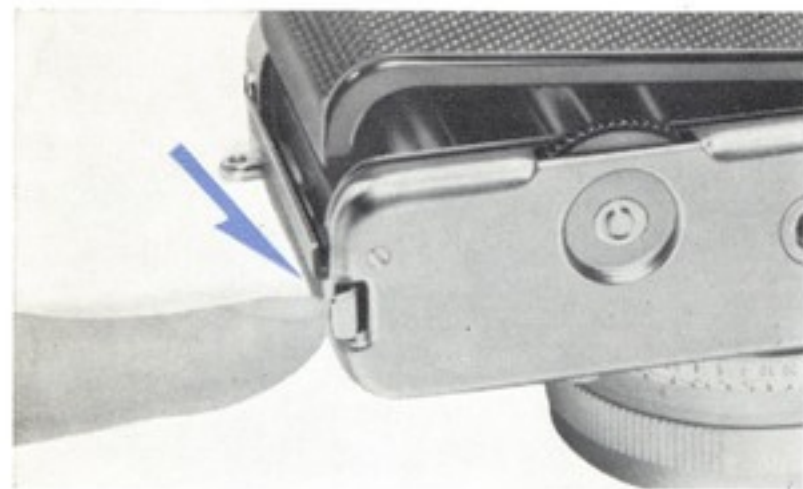
シンクロ  
ターミナル

三脚取付け用ネジ穴

裏蓋開閉カン

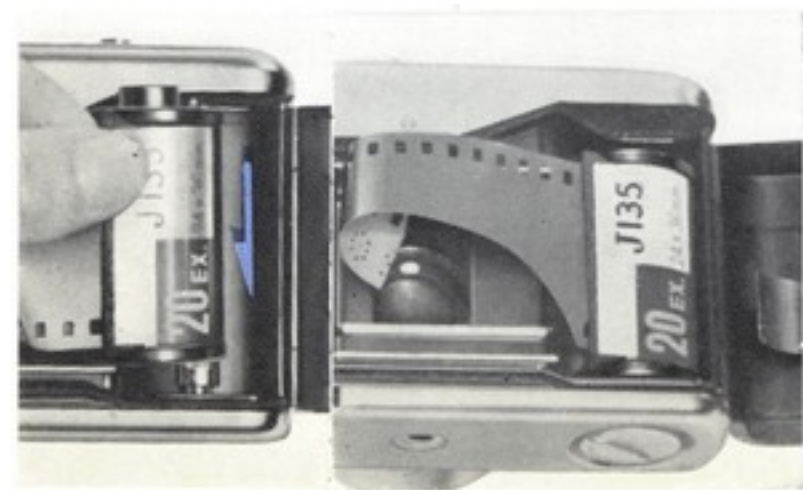
フィルム巻戻し用ボタン

☆直射日光下をさげ、木蔭などの暗いところに入れてください。

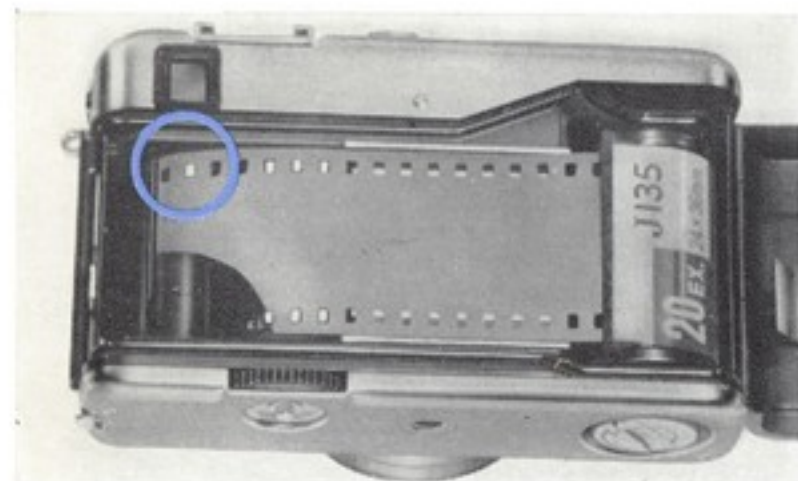


底部の裏蓋開閉カンを、指先で下に引くと自動的に裏蓋が開きます。

〈注意〉 フィルム枚数計は、自動復元式ですから裏蓋を開くと自動的にSに戻ります。

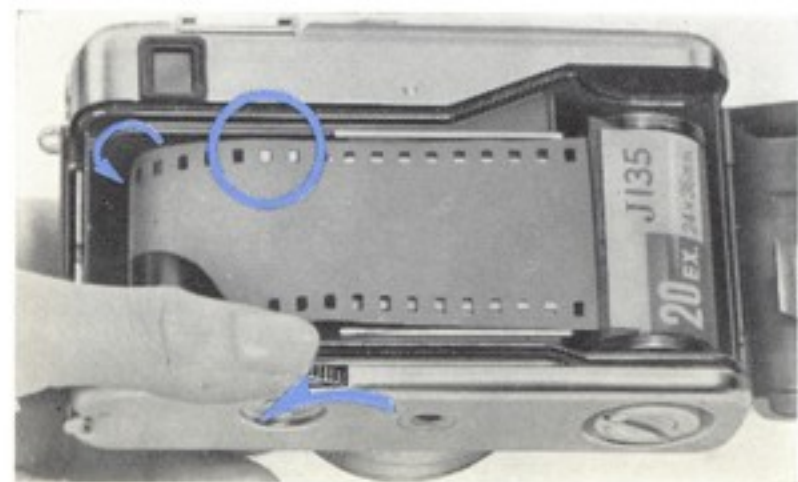


裏蓋をあけたら、パトローネを入れてください。

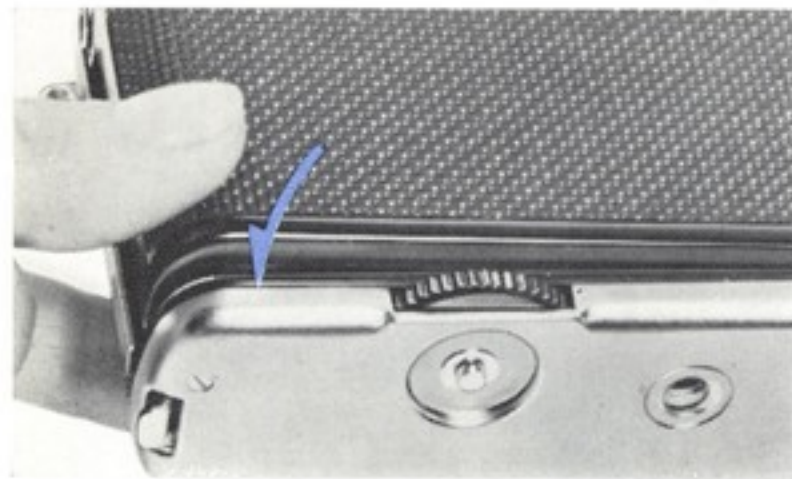


フィルムを引き出し、巻取りスプールにフィルムの先端を十分に差し込んでください。

このとき、スプールの溝の上にある突起にフィルムの孔(パーフォレーション)をひっかけてください。  
〈注意〉 この差し込みが曲っていたり不十分だと巻取り不能になることがありますから注意してください。



フィルムのパーフォレーションをスプロケットの歯にかみ合わせます。巻上げノブを静かに回し、フィルムが確実に送られるかを確認してください。

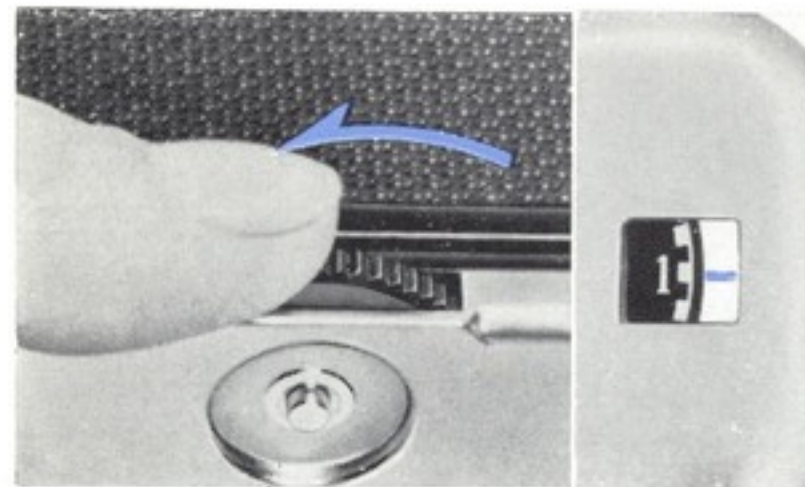


裏蓋を押せば、自動的にロックされ、裏蓋が閉ります。



巻戻しノブのクランクを起して、矢印方向に静かに止るまで巻きしめて、フィルムのだるみをなくします。フィルム送りを完全にするために必ずこの操作を行ってください。クランクを元どおりにしておきます。

☆便利な自動復元式フィルム枚数計がついています

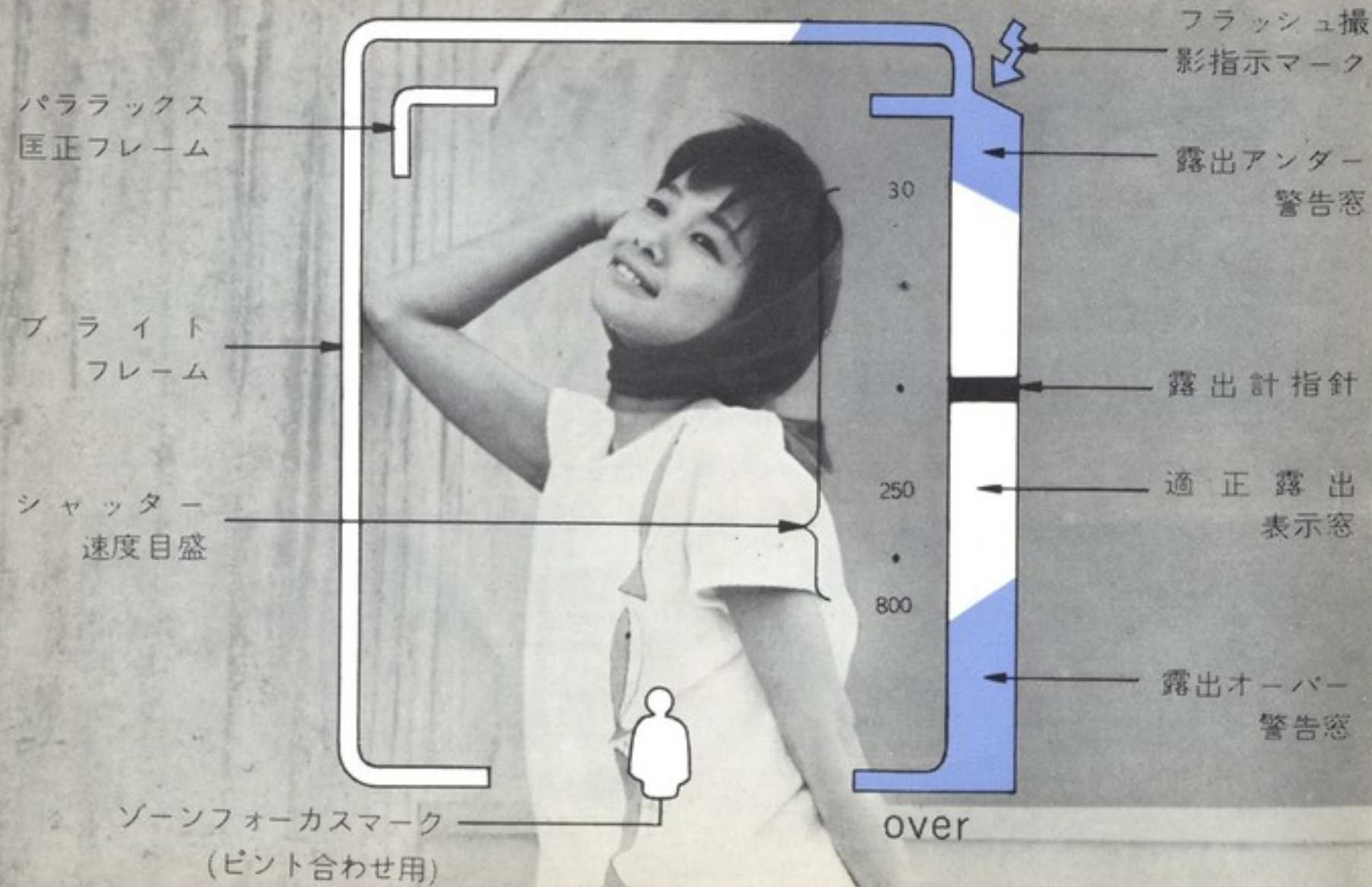


フィルム枚数計にS（スタート）がでていますから、1がでるまで巻上げノブを巻き空写しをします。あとは、撮影した枚数が自動的に表示されます。



◎巻上げノブを巻いたとき、巻戻しノブが回れば、フィルムが正しく送られていることとなります。必ず確認してください。  
◎撮影中、フィルム巻上げノブは必ずとまるまで回してください。





▶ 見ているだけでも楽しいファインダー

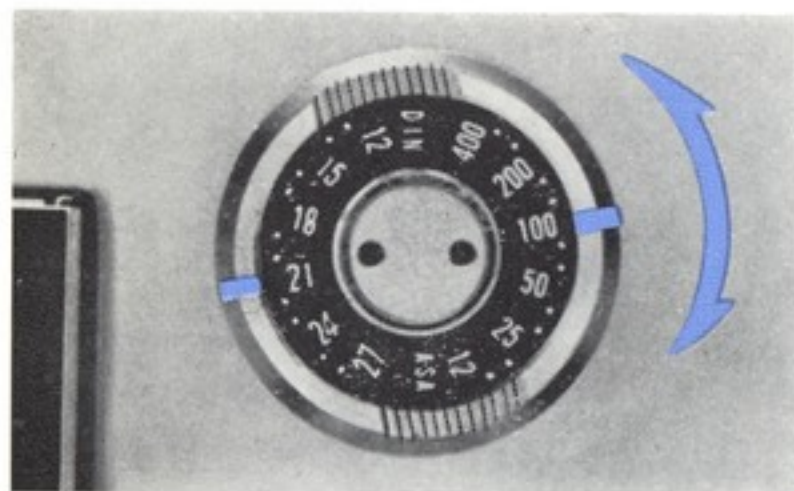
露出警告、シャッタースピード、ピント用ゾーンマーク  
 ブライトフレームがひと目でわかる明るいファインダー



ファインダーを覗くとブライトフレーム（光像枠）が見えます。このフレームの内が実際に写る範囲です。  
 パララックス（視差）匡正フレームが内側に見えますから、近接撮影で 1.5 m より近いときは内側のフレームを使用して撮影してください。

◎ファインダー内に撮影時のスピードが表示されます。

ファインダー内	30	●	●	250	●	800
シャッター速度(秒)	1/30 秒	1/60 秒	1/125 秒	1/250 秒	1/500 秒	1/800 秒



**1** ASA感度を合わせます。  
ASA感度調節リングを回し、使用フィルムのASA感度数に合わせてください。これを忘れると適正露出が得られません。



**2** AUTOに合わせる  
マニュアルリングを回してAUTOを■印に合わせてください。これによって、EE機構が作動します。

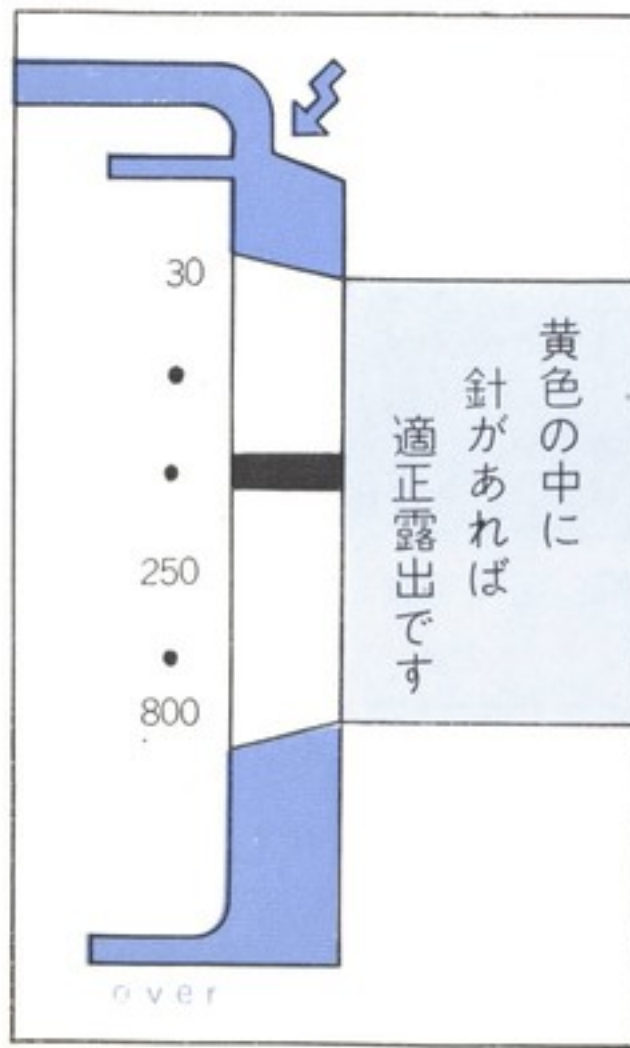


★〈ASA感度は必ず合わせてください。〉  
☆ASA感度とは、フィルム感光度のこと、フィルムの外箱にASAいくつと印刷されていたり、説明書の露光指数の項に必ず書いてあります。

### ASA感度目盛

ASA・DIN目盛数の間にある線は、下に書いてある目盛数を示します。

ASA	12 ■ ■ 25 ■ ■ 50 ■ ■ 100 ■ ■ 200 ■ ■ 400
	16 20 32 40 64 80 125 160 250 320
DIN	12 ■ ■ 15 ■ ■ 18 ■ ■ 21 ■ ■ 24 ■ ■ 27
	13 14 16 17 19 20 22 23 25 26

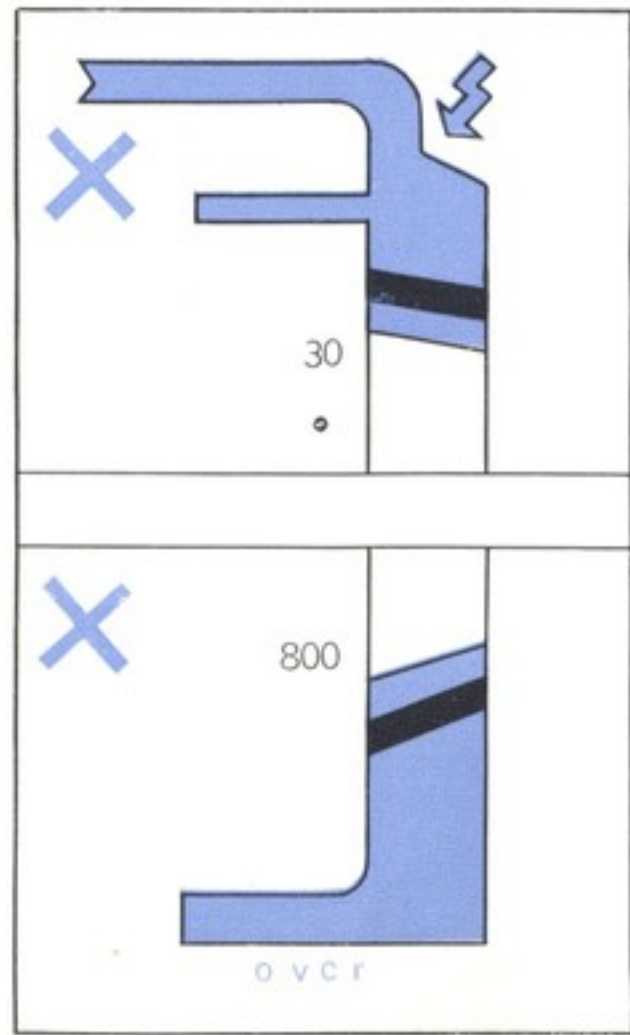


**3** ファインダー内の露出表示窓を見てください

黄色の中に  
針があれば  
適正露出です

- ☞ シャッターボタンを軽く押し  
ますと、針がふれます。
- ☞ この針が黄色の内にあるとき  
は露出が正しいときです。
- ☞ そのまま、シャッターボタンを  
押せば、E E撮影ができます。

☞ 露出表示窓で、適正露出のときの  
シャッタースピードがわかります  
から、撮影に非常に便利です。



◀ 露出不足（アンダー）のときは  
シンクロ撮影をする

針が上の赤、シンクロ撮影マークの方  
に入ったときは、露出不足ですからE  
E撮影をやめて、シンクロ撮影かB(パ  
ルブ)撮影に替えてください。

◀ 露出過度（オーバー）のときは  
フィルターを使用する

針が下の赤、OVERのマークの方  
に入ったときは、露出過度ですからフィ  
ルター（ND等）をかけてから、E E  
撮影をするようにしてください。

☆逆光線撮影もワンタッチで露出調節ができます

逆光線撮影等のバックの  
明るすぎるところでの露  
出に注意しましょう。

逆光線撮影、窓際の人物、雪景色の人物などのようにバックの明るすぎるときに、普通に撮影したのでは、人物等の主被写体が暗く（露光不足）になってしまいます。



こんなときでも、次頁のように露出の測り方を注意すれば、いつでもきれいな写真を撮ることができます。

\*被写体に近寄れないときは……

ASA感度を利用します

逆光か窓際での撮影の露出は、順光線撮影の約2倍とされていますので、ASA 100のフィルムを使用していたら、ASA 50にセットして撮影すれば、主被写体が暗く（露光不足）なるのを防げます。



\*被写体に近寄れるときは……

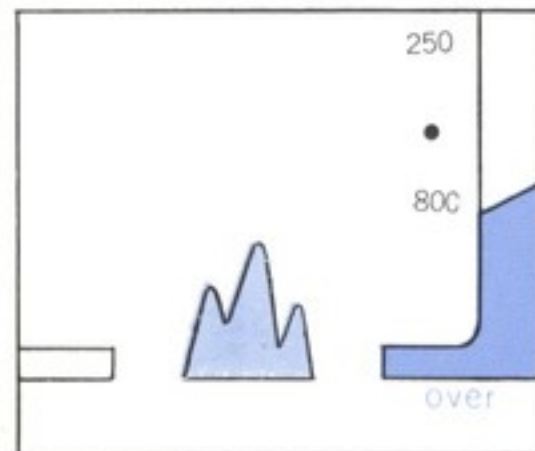
シャッターボタンを利用します

バックの光の影響を受けない位置まで被写体に近づきカメラを向け、シャッターボタンを軽く途中まで押しますと、露出計の針が固定されて、そのときの適正露出がセットされます。

ボタンを押えた状態で、撮影位置まで戻り、そこでシャッターを切れば主被写体の露光不足が防げます。



☆お子様にも簡単に合わせられるマーク式ピント合わせ



ヤシカハーフ17では、4点ゾーンフォーカスマークを使用していますから、どなたにも簡単にピント合わせができます。

クローズアップ撮影には、このマークを  
(近接撮影用約0.8m)



ポートレート撮影には、このマークを  
(近距離用約1.2m)



スナップやグループ撮影には、このマークを  
(中距離用約3m)



風景や遠景撮影には、このマークを  
(遠距離用約10m~∞)



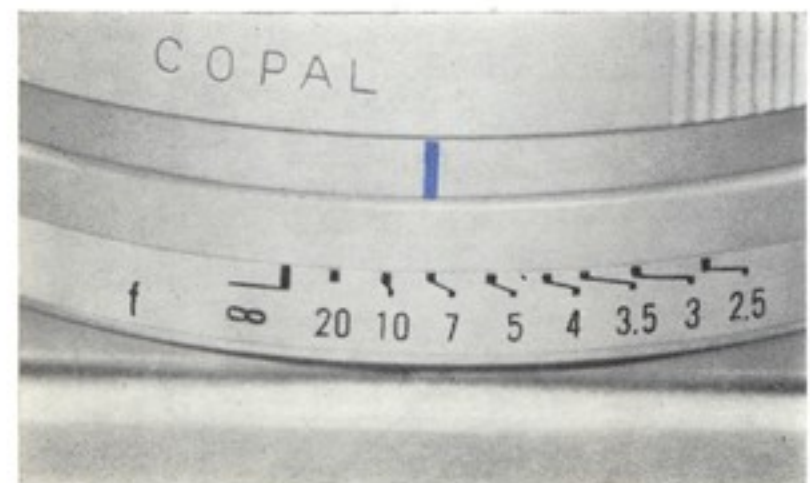
ファインダーを覗きながら距離調節レバーを動かし、撮影したい被写体と同じマークを合わせればピントはOKです。



●ピントは、マークを合わせればOK!

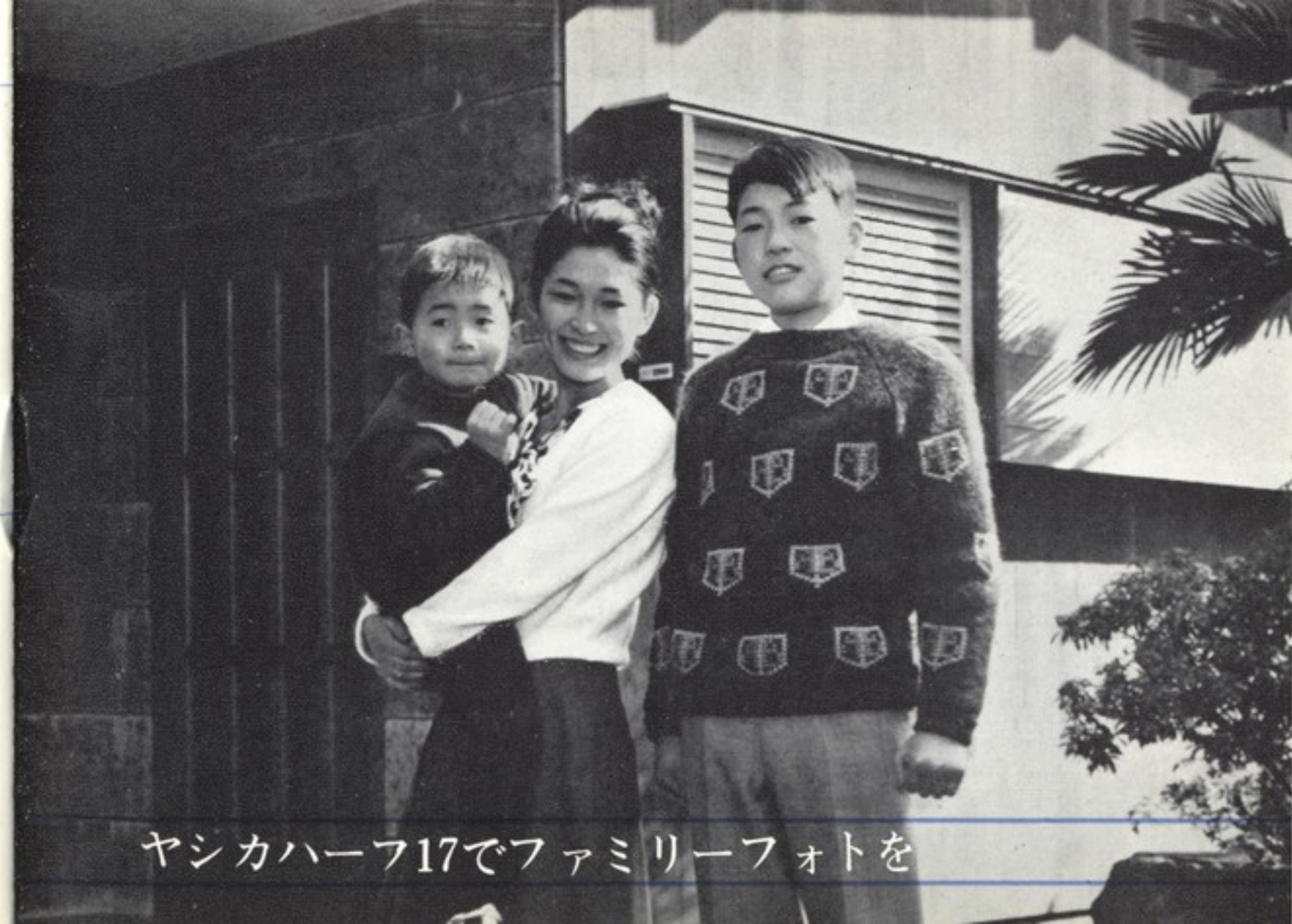


距離目盛を使用して、正確なピント合わせをしたいとき、また、シンクロ撮影のときには、レンズ鏡胴部にある距離目盛を利用してピント合わせができます。



室内撮影の場合は、なるべく距離目盛を使用してください。

レンズ鏡胴の上にあるのがメートル目盛、下にあるのがフィート目盛です。



ヤシカハーフ17でファミリーフォトを

● 距離目盛を利用してでも合わせられます

## ヤシカハーフ17でカラーフォトを

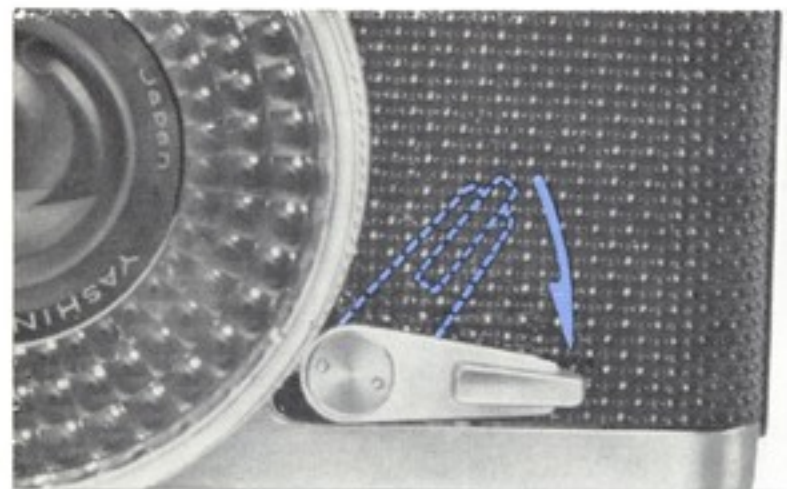
▶カラー写真用に新しく設計された、ヤシノンレンズで、美しいカラー写真やカラースライドを楽しみましょう。



小型カメラは、写るフィルムサイズが小さいため、大きく引伸すにはカメラブレをしないことが必要です。  
カメラになれるまでは写真のように両手でしっかり構えて撮影してください。

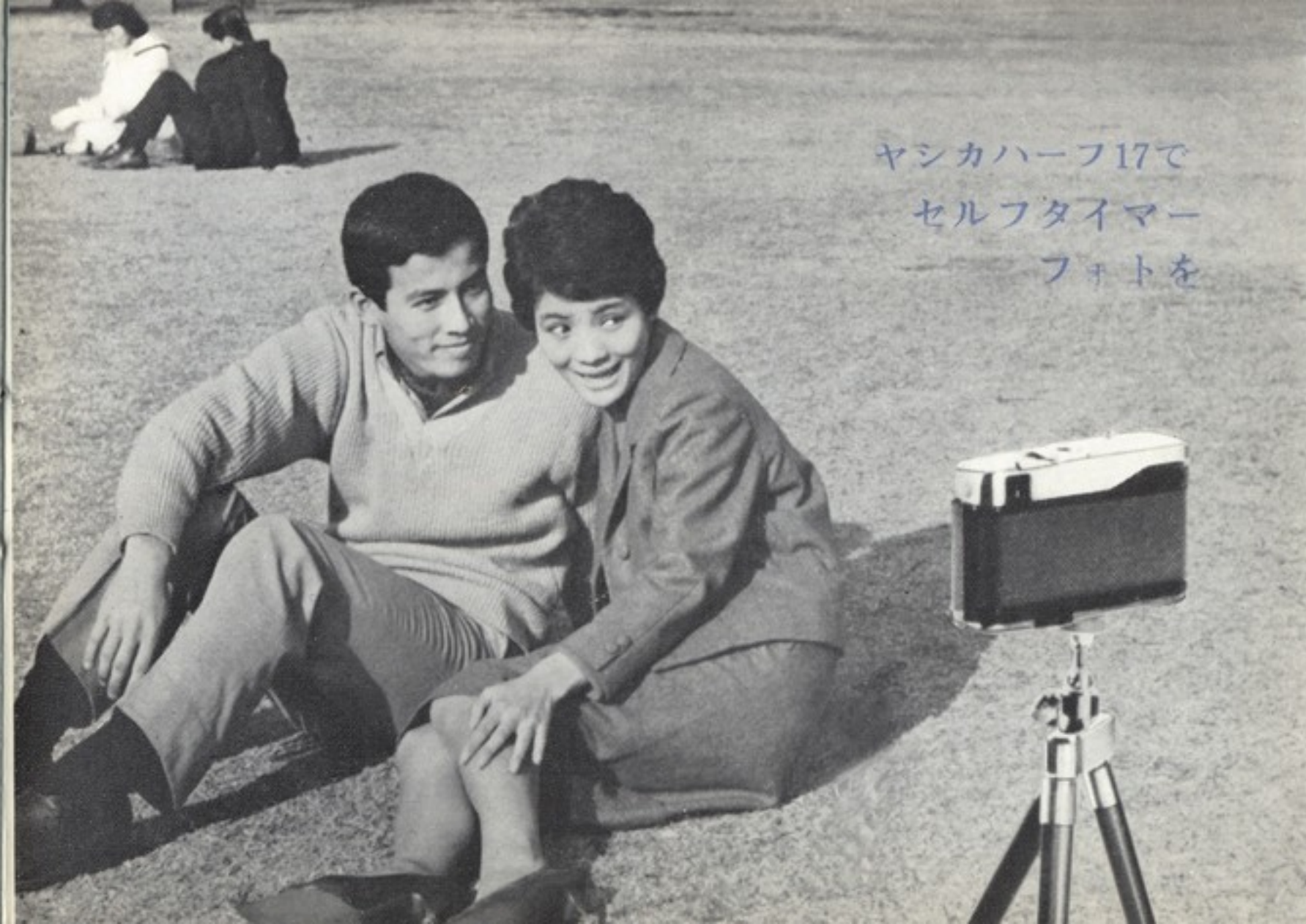


☆ 2人だけの写真がとれる便利なセルフタイマー



〈セルフタイマーの使い方〉

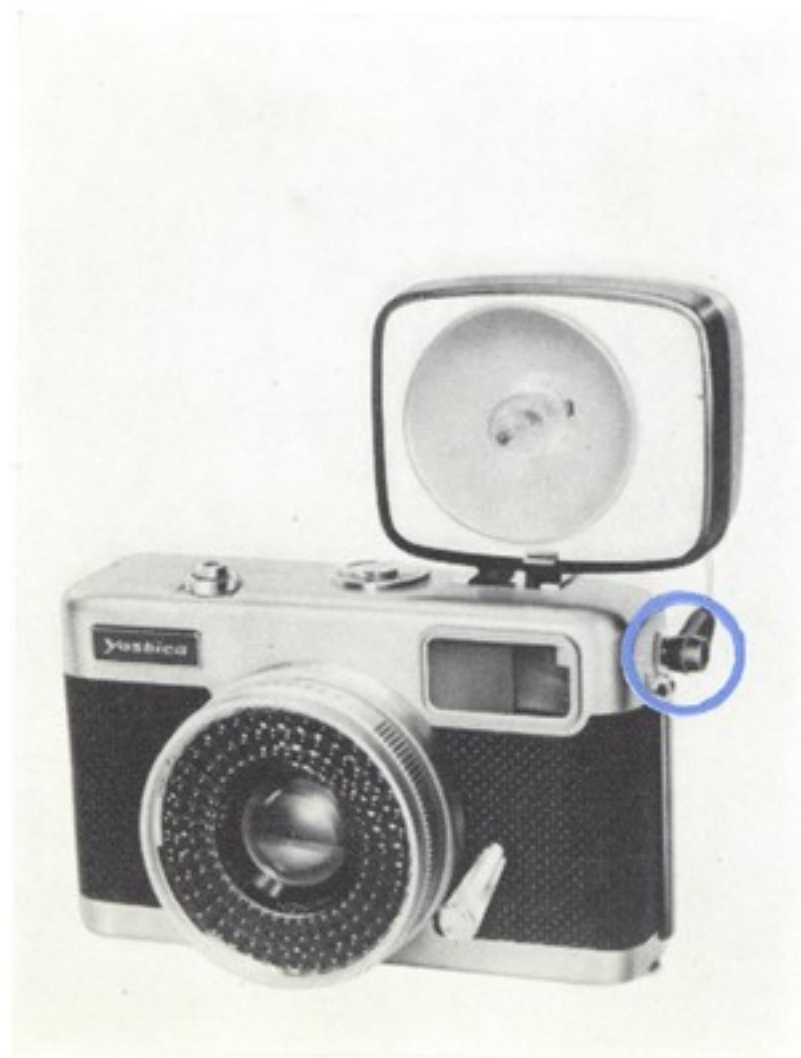
- 1) フィルム巻上げノブを巻き、シャッターをセットしておきます。
- 2) セルフタイマーレバーを、止るまで下げてセットします。
- 3) シャッターボタンを押せば、7～8秒してからシャッターが作動し撮影できます。



ヤシカハーフ17で  
セルフタイマー  
——フォトを

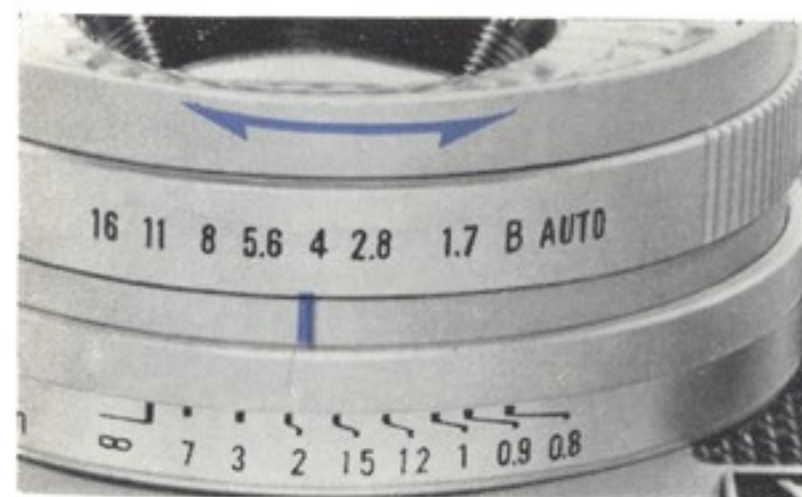


☆あらゆるフラッシュが使えるX接点方式



シンクロ撮影には、EE撮影のAUTOは使いません。  
マニュアルリングをAUTO・Bからはずすと、自動的に $\frac{1}{30}$ 秒のシャッター速度にセットされます。

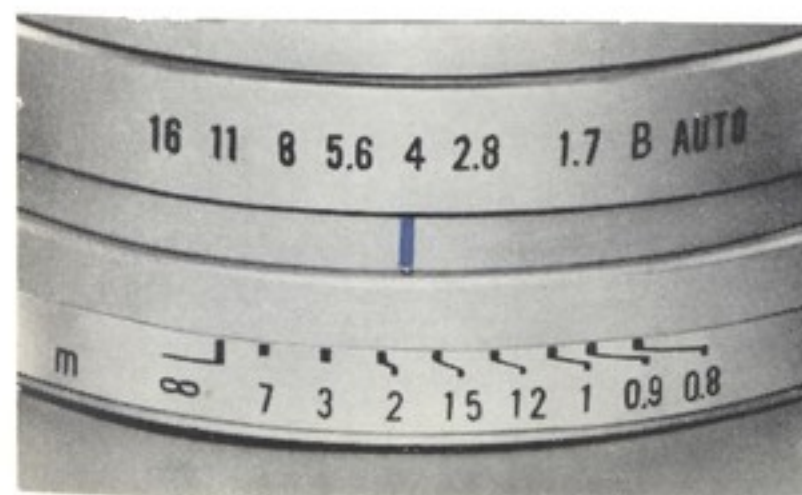
ストロボまたは、フラッシュガンアクセサリーシューに差し込みます  
シンクロターミナルにストロボまたは、フラッシュガンのコードのプラグを差し込みます。



X接点で、シャッター速度が $\frac{1}{30}$ 秒にセットされているため、ストロボ、閃光電球のどちらでも使用できます。  
シンクロ撮影では、マニュアルリングを回し手動絞りを使用します。

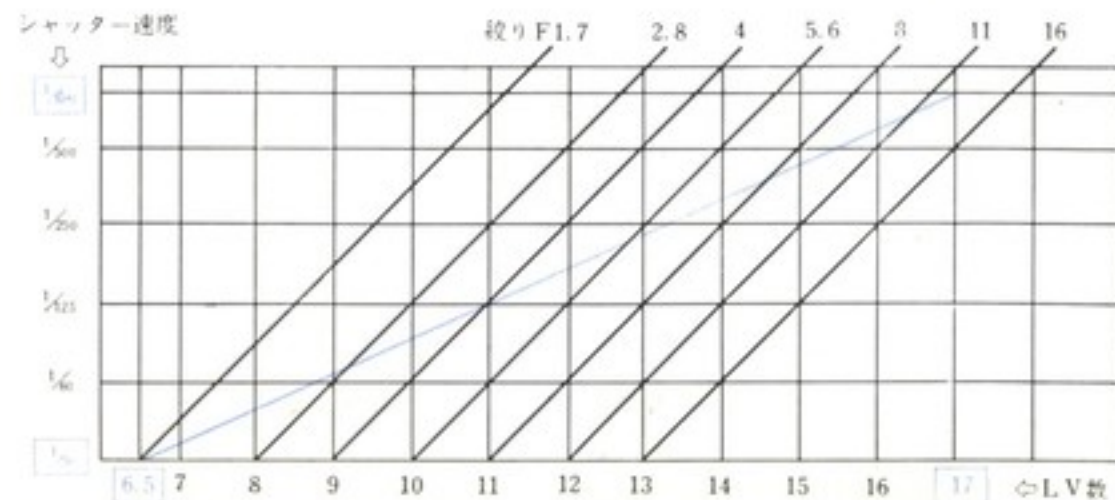
◎適正な絞りの決め方

- ◎まず目測で写すものの距離を測り、その距離で閃光電球のガイドナンバーを割った数が、そのときの適正な露出の絞りです。  
この絞り数をマニュアルリングを回し合わせてください。
- ◎距離は、カメラの距離目盛で合わせましょう。



☆ハーフ17のプログラムシャッターについて

◎ ヤシカハーフ17には、プログラムシャッター(LV6.5~17)がついています。あらかじめ組み合わされたシャッター速度と絞りが露出計のE E機構に連動し、連続的に変化して自動的に露出を決定するようになっていますから、露出について頭を使うことなくただシャッターボタンを押せばよいのです。しかも、マニュアルリングをAUTO・Bからはずすと、自動的にシャッター速度が $\frac{1}{30}$ 秒にセットされますから手動絞りも使えます。



〈B (バルブ) について〉

マニュアルリングにあるBとは、バルブという意味で、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いているのです。長時間露出に利用します。

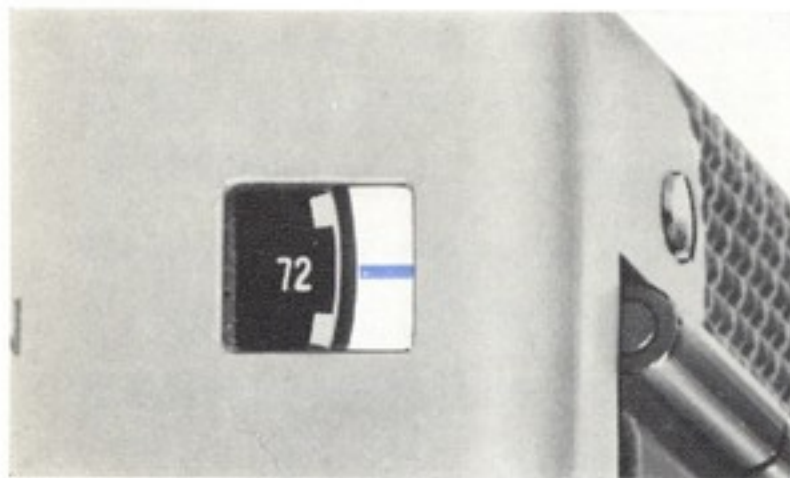
◎ B (バルブ) にすると絞りはF1.7の開放の状態になっています。



〔注意〕

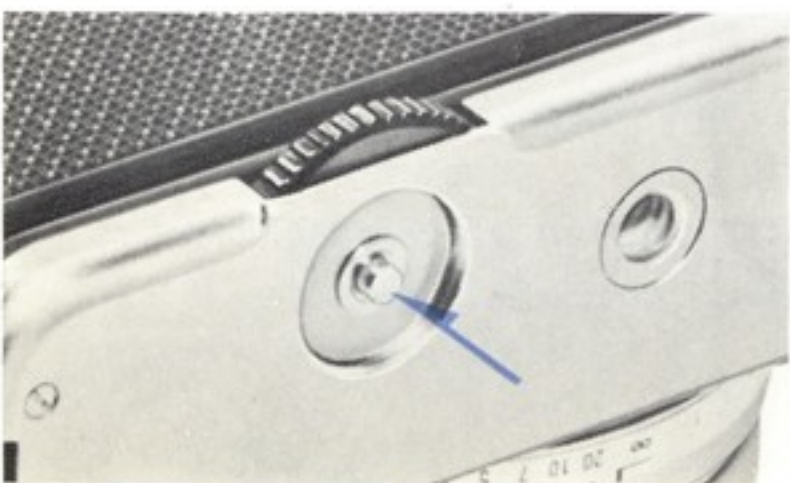
☞ 特殊な撮影をするため、 $\frac{1}{30}$ 秒（手動絞りを使う）かB（バルブ）を使うときは、三脚か適当な台を利用してください。このときは、ケーブルレリーズをシャッターボタンの穴にネジ込んで併用してください。

☆撮影が終わったらパトローネに巻戻してからカメラより取りだします



枚数計が72（または40）の数になるとフィルムが終ったしるしです。

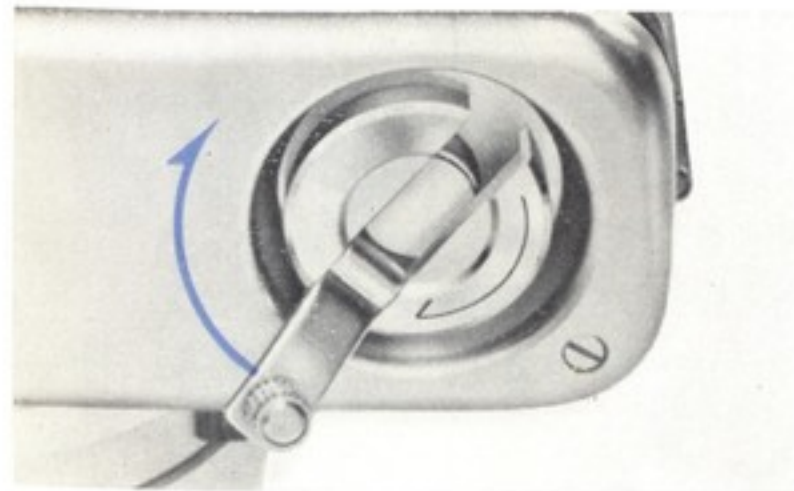
◎なお、フィルムが終ったとき無理に巻上げるとフィルムが切れたり、パトローネからはずれたりして巻戻しができなくなります。



カメラ底部にフィルム巻戻し用ボタンがあります。

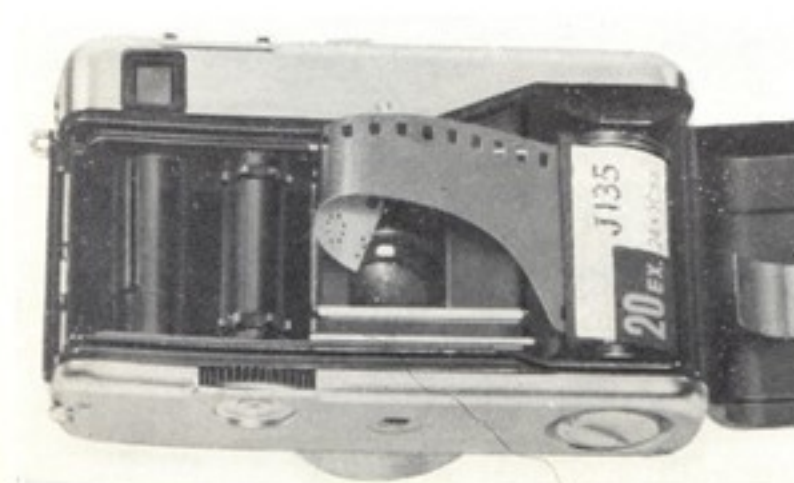
このボタンを押しながら……

〈注意〉巻戻し中は、必ず巻戻し用ボタンを押しててください。



巻戻しノブのクランクを起して、矢印方向に回します。

フィルムがスプールからはずれるときにちよつと抵抗を感じますがそのまま巻きつづけてください。



抵抗感がなくなったら、裏蓋をあけてパトローネを取りだします。

●撮影が終わったら、フィルムを巻戻します

☆フィルターを使っても露出はOK!



◎フィルターを使うとき

光線の強い場所、真夏の海岸、雪景等で、露出が過度になり針が下の赤(OVERの方)に入ってしまうとき、また、特殊な作画意図のときには、フィルターを使用します。

フィルターを使用しても、ハーフ17では、露出計受光面を同時におおうようになっていますから、かけないときと同じようにEE撮影をしてよいのです。

◎ヤシカ専用フィルター (ネジ込み52mm)

モノクロ用 (Y<sub>1</sub> Y<sub>2</sub> O<sub>2</sub> G<sub>1</sub> B R<sub>1</sub> ND<sub>4</sub>) ¥ 750

“ (UV) ¥ 850

カラー用 (1A 80B 81B 82A 85C) ¥ 850



☆便利な専用フードをお使いください。



◎ヤシカ専用フード (カブセ54mm) ¥ 700

逆光・半逆光線撮影、その他雪景、真夏の海岸など反射光線の強いところではフードを使用してください。

◎フードは図のようにレンズ鏡胴部に簡単にしまえます。

◎フードをしまったまま、撮影することも、カメラケースにしまうこともできるので便利です。

◎レンズ保護のためにUVフィルターをご使用ください。

◎レンズキャップをかけたままでも、フードをしまうことができますので便利です。

〈カメラは大切に  
しましょう〉

●レンズは、いつもきれいにしておきましょう。レンズブラシや柔いガーゼのようなもので軽くふきましょう。

●レンズ保護のために、ぜひUVフィルターを使用してください

●露出計の狂う最大の原因はショックです。乱暴にあつかつたり高い湿気や高熱にさらすことのないように注意してください。

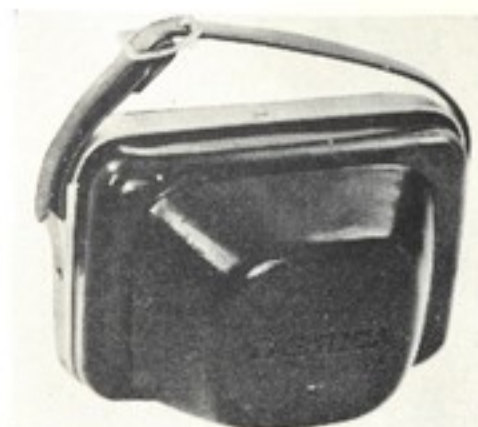
●手入れのつもりで、シャッターや内部を分解するのはやめてください。

☆修理のときは下記へお送りください。 ヤシカ諏訪工場 長野県諏訪郡下諏訪町3170



YASHICA

Half 17 DeLuxe



## ◎スポーティなスタイルの デラックスハードケース

- ◎ヤシカハーフ17には、肩から気軽にかけられるすばらしいデザインのデラックスケースが用意されています。
- ◎スポーティで気品のあるデザインのハードケースは、どんなときでも、どんな服装にもマッチし、また、カメラの完全な保護と速写性の点においてもすぐれています。
- ◎新しい感覚のデザインとすぐれた機能をもつデラックスケースを大いにご利用ください。

すばらしい性能と品質をもつヤシカハーフ17で 美しい写真をお撮りになると共に、貴方のお友達やお知り合いの方々におすすめくださるようお願い申し上げます。

制作監修 商品部 64.12-10.000-13(HY)

ヤシカ製品のお問合わせは下記へお願いします。



株式会社 **ヤシカ**

東京・渋谷区神宮通 2～31 電話 (403) 大代表 1411